

平成29年度第2回新潟市北区郷土博物館協議会 会議次第

日 時：平成30年3月29日（木） 午後3時 ～
場 所：新潟市北区郷土博物館 集会室

1 開 会

2 あいさつ・・・・・・・・・・・・・・ 杉本耕一（新潟市北区郷土博物館協議会会長）

3 あいさつ・・・・・・・・・・・・・・・・・・佐々木 勇 北区副区長（地域課長）

4 議 事

- （1）平成29年度後期の新潟市北区郷土博物館事業報告について
- （2）平成30年度の新潟市北区郷土博物館事業計画について
- （3）その他

5 閉 会

平成29年度 後期事業報告

1 企画展等

(1) 常設展拡大企画「昭和の暮らし展 — 「食べる」の道具たち—」

- ・ 11/25 (土) ~ H30. 2/12 (月)
- ・ 入館者数 1,091 人
- ・ 担当 曾部珠世

常設展示の一つのテーマを掘り下げて展観する企画展。北区内小学校3年生社会科「昔の道具と暮らし」の学習に対応するため、昨年度から開催。

昨年度の第1回展のテーマは、<70年前の農家の冬の仕事>だったが、今回のテーマは<「食べる」の道具たち>。約60年前までに使われていた食にかかわる昔の道具(民俗資料)や写真の展示を通して、北区の昔の暮らしの一端を紹介するとともに、現代とは違い、物が少なかった時代の人々の知恵や工夫を紹介した。

○会期中の催し

①昔の遊びチャレンジコーナー

- ・ 土曜日開催 (12/23、1/6・13・20・27、2/3・10)
- ・ 各回定員なし

②手織り機の実演と体験 (1/27 (土)、2/10 (土))

- ・ 講師：葛塚縞手織りの会
- ・ 参加者：1/27 (土) 6人 (定員7人)
2/10 (土) 6人 (定員7人)

(2) 常設展拡大企画「— 所蔵作品公開 — 美術のなかの自然展」

- ・ 3/17 (土) ~ 6/17 (日)
- ・ 担当 神田直子

「自然とはなにか」という問いを手がかりに、地域の人々の生と自然との関わりを提示する常設展「阿賀北の大地と人々の暮らし」と関連づけた企画。当館所蔵作品9点の絵画と立体作品により、現実の世界と表現された世界の違いに着目し、作家独自の世界観と、作品として「表現された自然」について思い巡らしてもらうことを目的として開催。

○作品鑑賞会 (3/18)

- ・ 3/18 (日)、参加者数：9人
- ・ 講師：神田直子
(4/15、5/20、6/17も開催予定)

2 講座・教室、レファレンス等

(1) 歴史みに講座

- ・北区の歴史や文化を学ぶ。
- ・共催事業（主催：新潟市北区郷土博物館、共催：北宝隊・北地区歴史文化研究会）

① 碑に記された人々

- ・10/14（土）
- ・参加者数 20人（定員40人）
- ・会場：新潟市北地区公民館
- ・講師：平田敬正氏（北地区歴史文化研究会会長）

② 北区の街道をたどる

- ・10/21（土）
- ・参加者数 24人（定員40人）
- ・講師：本間修一氏（北宝隊代表）

③ 江戸時代の農民魂・水原代官追放事件

- ・10/28（土）
- ・参加者数 26人（定員40人）
- ・講師：杉本耕一氏（新潟市北区郷土博物館協議会長）

(2) 第27回博物館まつり

- ・見る、聞く、触れるなど体験・実演コーナーの設置や、郷土芸能発表会を通して伝統文化を学ぶ。

・11/2（木）～11/4（土）

・参加者数 延べ580人

○催し物

- ・チャリティー骨董市（11/2～4）
主催：チャリティー骨董市実行委員会
- ・実演・体験・チャレンジコーナー（11/3・4）
（消しゴムハンコ・ワラなべしき・竹とんぼ作りなどの体験、昔あそび、土器パズル、北区パズル、葛塚縞手織りの実演と体験）
- ・超大筆パフォーマンス（11/4）
揮毫：小黒五稜氏（書家）
- ・パッチワーク小物の販売
- ・郷土芸能発表会（11/3）（後掲参照）
- ・お楽しみ抽選会

○協力：伊豆名皓美、大月優子、大脇花子、倉島百合子、佐藤則子、成澤清子、橋本弘、早川ミハル、葛塚縞手織りの会、市民ガイド、新潟医療福祉大学レクア・コム部、菱湖会（敬称略）

(3) ハンコで遊ぼう！

- ・石印材に名前や干支等を彫りオリジナル作品を制作。
- ・12/2 (土)
- ・参加者数 16人 (定員 16人)
 - ・会場：新潟市北区文化会館
 - ・対象：小学4年生以上
 - ・講師：伊豆名皓美氏 (書道講師・新潟県美術家連盟会員)

(4) 市民ガイド研修

- ・市民ガイドのスキルアップと情報の共有を図る。

○浦木東遺跡現地説明会

- ・11/11 (土)
- ・参加者数 6人、随員職員 頓所洋一、遠藤真理子

○旧笹川家住宅ボランティアガイド交流会

- ・12/22 (金)
- ・参加者数 7人、随員職員 頓所洋一、曾部珠世、遠藤真理子

○新潟市歴史系博物館・資料館ボランティア交流会 (新潟市岩室民俗資料館)

- ・H30. 2/ 1 (木)
- ・参加者数 6人、随員職員 頓所洋一、遠藤真理子

(5) ふるさと学習

- ・学校教育や地域などと連携し、博物館資料の紹介や、展示見学の利用を図る。

○学校における博物館活用のための常設展示解説会

◆北区内小中学校地域教育コーディネーター研修 (11/8)

- ・参加者数 18人
- ・対象：北区の小中学校地域教育コーディネーター
- ・講師：頓所洋一、市民ガイド2人

◆北区内小学校長会研修会 (12/15)

- ・参加者数 13人
- ・対象：北区の小学校長
- ・講師：頓所洋一、市民ガイド5人

○学校教育としての見学

◆五十嵐中学校「新潟市を知ろう」

- ・10/19 参加者 33人
- ・講師：曾部珠世、市民ガイド4人

◆南浜小学校「福島潟の干拓の歴史」

- ・11/30 参加者 10人 (4年生ほか)
- ・講師：曾部珠世

◆笹山小学校「昔の道具とくらし、昔の農業」

- ・12/7 参加者 20人 (3年生ほか)
- ・講師：市民ガイド3人

- ◆木崎小学校「昔の道具とくらし」
 - ・1/18 参加者 53 人 (3 年生ほか)
 - ・講師：市民ガイド 4 人
- ◆太夫浜小学校「昔の道具とくらし」
 - ・1/25 参加者 43 人 (3 年生ほか)
 - ・講師：曾部珠世、市民ガイド 4 人
- ◆太田小学校「福島潟の干拓の歴史」
 - ・2/1 参加者 11 人 (4 年生ほか)
 - ・講師：曾部珠世
- ◆太田小学校「昔の道具とくらし」
 - ・2/8 参加者 14 人 (3 年生ほか)
 - ・講師：市民ガイド 3 人

○市民ガイドによるその他の団体及び個人への案内

延べ 5 回 (延べ 12 人)

見学者延べ 59 人

○地域活動支援

・講座講師の紹介

北区朝日町万年青クラブが主催する講座の講師として宮崎芳春氏（前館長）を紹介。

○講師派遣

- ・出前授業「昔のくらし、昔のあそび」(1/24)
(新潟市文化財センター出前授業への協力)
- ・対象：早通南小学校 3 年生
- ・講師：頓所洋一

(6) レファレンス

- ・郷土史関連図書の閲覧、市民の郷土史学習サポート、資料調査協力
- ・博物館や大学など研究機関への協力

3 他機関との連携事業

○児童館利用者訪問

常設展拡大企画「昭和のくらし展 —「食べる」の道具たち—」併設の「昔の遊びチャレンジコーナー」の利用、およびその関連での利用。

◆早通児童センター

- ・2/3 参加者 9 人
- ・指導：頓所洋一、遠藤真理子

◆三ツ森児童館

- ・3/10 参加者数 17人
- ・指導：頓所洋一、遠藤真理子
- 「潟」めぐりスタンプラリーの設置
 - ・7/15 ～11/30
 - ・主催：新潟市文化創造推進課

4 郷土芸能支援事業（特色ある区づくり事業）

- (1) 「キテ・ミテ・キタク」郷土芸能公演（3団体）
 - ・11/23（木・祝）、参加者数 340人
 - ・会場：JRA 新潟競馬場
 - ・出演団体（出演順）
尾山団地樽きち会、木崎三柱会、竹の通神楽連

- (2) 郷土芸能出前公演会
 - ・文化祭での公演
 - ・10/28（土）、参加者数 636人
 - ・会場：木崎小学校
 - ・出演団体 御山伊佐弥神楽保存会

- (3) 郷土芸能出前公演会
 - ・地域文化祭での公演
 - ・11/3（金・祝）、参加者数 347人
 - ・会場：葛塚小学校
 - ・出演団体 他門神楽保存会

- (4) 市指定無形民俗文化財 郷土芸能の記録のDVD化

5 北区文化財保護事業

- (1) 歴史・民俗資料等 整理事業
 - 収蔵歴史資料の再整理（10月～H30年3月）
 - ・古文書・行政文書 作業日数は延べ 9日
 - ・民俗資料 作業日数は延べ 11日
 - 北区古文書解読研修会等によるボランティア
歴史資料の中性紙封筒への入れ替え作業、及び郷土資料収蔵庫の民俗資料整理作業

- (2) 公開・活用

○郷土芸能発表会

① 「博物館まつり」郷土芸能発表会（12 団体）（再掲）

- ・11/3（金・祝）
- ・出演団体（出演順）
新崎伊佐弥神楽保存会、内沼獅子舞保存会、松浜太鼓保存会、
新崎甚句保存会、内島見神楽保存会、正尺神楽保存会、新崎樽ばやし連、
豊栄郷土民謡保存会、長場神楽保存会、松浜盆踊り太鼓保存会、
大瀬柳神楽保存会、高森いざや神楽保存会、

② 「キテ・ミテ・キタク」郷土芸能公演（3 団体）（再掲）

- ・11/23（木・祝）、 参加者数 340 人
- ・会場：JRA 新潟競馬場
- ・出演団体（出演順）
尾山団地樽きち会、木崎三柱会、竹の通神楽連

③ 郷土芸能出前公演会（再掲）

- ・文化祭での公演
- ・10/28（土）、 参加者数 636 人
- ・会場：木崎小学校
- ・出演団体 御山伊佐弥神楽保存会

④ 郷土芸能出前公演会（再掲）

- ・地域文化祭での公演
- ・11/3（金・祝）、 参加者数 347 人
- ・会場：葛塚小学校
- ・出演団体 他門神楽保存会

（3）保護事業

- 収蔵資料くん蒸（H. 30. 2・3）
- 県指定天然記念物「高森の大ケヤキ」保護事業
- 市指定無形民俗文化財 郷土芸能の記録のDVD化（再掲）

6 郷土資料収蔵庫整理事業

- 郷土資料収蔵庫に移動した民俗資料の整理・配架
- 収蔵資料のくん蒸（再掲）

平成 29 年度入館状況

月別	北区郷土博物館 入館者数(人)	横井の丘ふるさと 資料館入館者数(人)	主 な 行 事
4 月	510	5	
5 月	427	29	常設展拡大企画「北区の水害展」5/27～7/1
6 月	683	16	常設展拡大企画「北区の水害展」5/27～7/1 歴史みに講座 6/3 (20 人) ・6/10 (16 人)
7 月	1,198	18	常設展拡大企画「北区の水害展」5/27～7/1 (のべ 846 人) 第 34 回菱湖会展 7/13～7/17 (457 人) 第 20 回松蔭賞書道展 7/29～8/27
8 月	1,135	5	第 20 回松蔭賞書道展 7/29～8/27 (1,249 人)
9 月	1,302	19	第 11 回新潟市北区こども科学展 9/16～9/24 (1,006 人)
10 月	575	9	歴史みに講座 10/21 (24 人) ・10/28 (26 人)
11 月	1,015	2	第 27 回博物館まつり 11/3・4 (のべ 580 人) 常設展拡大企画「昭和の暮らし展 「食べる」の道具たち」11/25～2/12
12 月	337	0	常設展拡大企画「昭和の暮らし展 「食べる」の道具たち」11/25～2/12
1 月	510	0	常設展拡大企画「昭和の暮らし展 「食べる」の道具たち」11/25～2/12
2 月	323	0	常設展拡大企画「昭和の暮らし展 「食べる」の道具たち」11/25～2/12 (のべ 1,091 人)
3 月	202	0	常設展拡大企画「所蔵作品公開 美術のなかの自然展」3/17～6/17
合計	8,217	103	

- ・ 12/28～1/3 は年末年始のため休館
- ・ 横井の丘ふるさと資料館は現在休館中
- ・ 3 月 20 日までの入館者数

■館外事業

項 目	事業名	開場等	人数	備 考
特色ある区づくり事業 (郷土芸能伝承支援 事業)	キテ・ミテ・ キタク	11/23 JRA 新潟競馬場	340	尾山団地樽きち会 木崎の神楽 竹の通り神楽
	出前公演会	10/28 木崎小 文化祭	636	御山伊佐弥神楽
		11/3 葛塚小 地域文化祭	347	他門の神楽
市文化財センター共催 事業	出前授業	1/24 早通南小 3 年生	86	むかしの暮らし
		合計	1,409	

博物館入館者 + 分館利用者 + 館外事業参加者 = 9,729 人

平成30年度 新潟市北区郷土博物館事業予定

1 郷土芸能伝承支援事業（特色ある区づくり事業）

・北区に伝わる神楽等を地域の人に知ってもらうための発表の場と、後継者として期待される子どもたちへの伝承に向けた取り組みを支援する。

（1）「北区郷土芸能発表会」

- ・豊栄町博物館として1968年に開館した新潟市北区郷土博物館の開館50周年を記念して、郷土芸能発表会を北区文化会館で開催。
- ・主催（予定）：新潟市北区郷土博物館・新潟市北区文化会館
- ・11/25（日）
- ・会場：新潟市北区文化会館

（2）市指定無形民俗文化財 郷土芸能の記録のDVD化

2 新潟市北区郷土博物館開館50周年事業

（1）記念講演会

- ・10月を予定
- ・会場：新潟市北区郷土博物館
- ・講師、内容：未定

（2）「北区郷土芸能発表会」（再掲）

3 企画展等

（1）常設展拡大企画「— 所蔵作品公開 — 美術のなかの自然展」

- ・前年度3月からの継続開催。「自然とはなにか」という問いを手がかりに、地域の人々の生と自然との関わりを提示する常設展と関連づけて開催。
 - ・3/17（土）～6/17（日）
 - ・会場：ホール
 - ・担当 神田直子
- 作品鑑賞会（4/15、5/20、6/17）
- ・講師：神田直子

（2）平成30年度新潟地震巡回パネル展（貸館事業）

- ・防災意識向上のために、啓発事業。各区を巡回する。
- ・5/29（火）～6/12（火）
- ・主催：新潟市（防災課）、北区担当：北区地域総務課
- ・会場：集会室

（3）第35回菱湖会書展

- ・北区在住の書家 小黒五稜氏主宰の書道グループ「菱湖会」との共催展。
- ・共催事業（主催：菱湖会・新潟市北区郷土博物館）
- ・7/13（金）～7/16（月・祝）

（4）第21回松蔭賞書道展

- ・郷土出身の書家 弦巻松蔭にちなんで開催される競書大会。書に親しむ機会づくりの一環として市内の児童・生徒から課題作品を公募して開催する。入賞作品 238点を展示予定。
- ・7/28（土）～8/26（日）
- ・対象：新潟市内の小学3年～中学生
- ・作品募集締め切り：7/4日（水）

（5）第12回新潟市北区こども科学展

- ・新潟市北区の小中学校児童・生徒が、夏休みに取り組んだ創意工夫、探究心にあふれる作品を発表・展示。
- ・9/22（土）～10/8（月・祝）
- ・対象：北区内の小・中学生
- ・部門：模型・発明工夫・標本・自然科学写真

（6）常設展拡大企画「弦巻松蔭の若き時代—創作への道—（仮称）」

- ・上田桑鳩に師事した在京時代をはさんで、自己の書の確立をめざして学書、模索した弦巻松蔭の「葛塚時代」の作品を展示。
- ・11/17（土）～12/16（日）

（7）常設展拡大企画「昭和のくらし展3」

- ・今では使われなくなった道具から北区の昔の様子を紹介する企画の第3回展。体験を中心とした「こども博物館」を併設。
- ・H31.1/4（金）～5/6（月・祝）

4 講座・教室、レファレンス等

（1）歴史みに教室

- ・北区の歴史や文化を、博物館の内外で学ぶ。

(2) こども博物館

- ・見学・体験しながら北区の歴史と文化を学び、理解を深める。
「昭和のくらし展3」開催中に併設する。

(3) 第28回博物館まつり

- ・見る、聞く、触れるなど体験・実演コーナーなどを通して伝統文化を学ぶ。
(チャリティー骨董市、実演・体験・チャレンジコーナー、葛塚縞手織りの実演と体験など)
- ・11/3(土・祝)～11/4(日)

(4) 市民ガイド研修

- ・市民ガイドのスキルアップと情報の共有を図る。

(5) ふるさと学習

- ・学校教育や地域などと連携し、博物館資料の紹介や、展示見学の利用を図る。

(6) レファレンス

- ・郷土史関連図書の閲覧、市民の郷土史学習サポート、資料調査協力
- ・博物館や大学など研究機関への協力

(7) 博物館学芸員課程履修の実習生受け入れ

- ・実習期間：8/23～9/1の7日間

(8) 横井の丘ふるさと資料館の管理

(9) 郷土資料収蔵庫の管理運営

- ・環境整備・虫の侵入防止・空調管理
- ・民俗資料整理作業(台帳化、配架)

(10) 刊行物の販売

5 北区文化財保護事業

(1) 調査

- 歴史・民俗・写真資料等 整理作業

(2) 公開・活用

- ・郷土芸能発表会(再掲)
- ・文化財説明板修理

(3) 保護育成

- ・市指定無形民俗文化財 郷土芸能の記録のDVD化(再掲)

【背景】

葛塚地域では、北区役所新庁舎の整備や太田小学校の編入統合をきっかけとして、実行計画の検討に着手し、平成28年10月から翌年9月までの全6回開催されたワークショップなどで得られた成果をもとに、実行計画を策定しました。

【再編の実施時期】

北区役所関連施設の再編や太田小学校の文書館への転用は短期的に、保育園、児童館及び郷土博物館は施設の更新に合わせて長期的に再編を実施することとします。
また、詳細な検討の進捗状況や財政状況などにより、再編時期や内容について適宜見直しを行うこととします。

公共施設の再編計画

【コンセプト】 地域の均衡ある発展

【北区役所関連施設の概要】

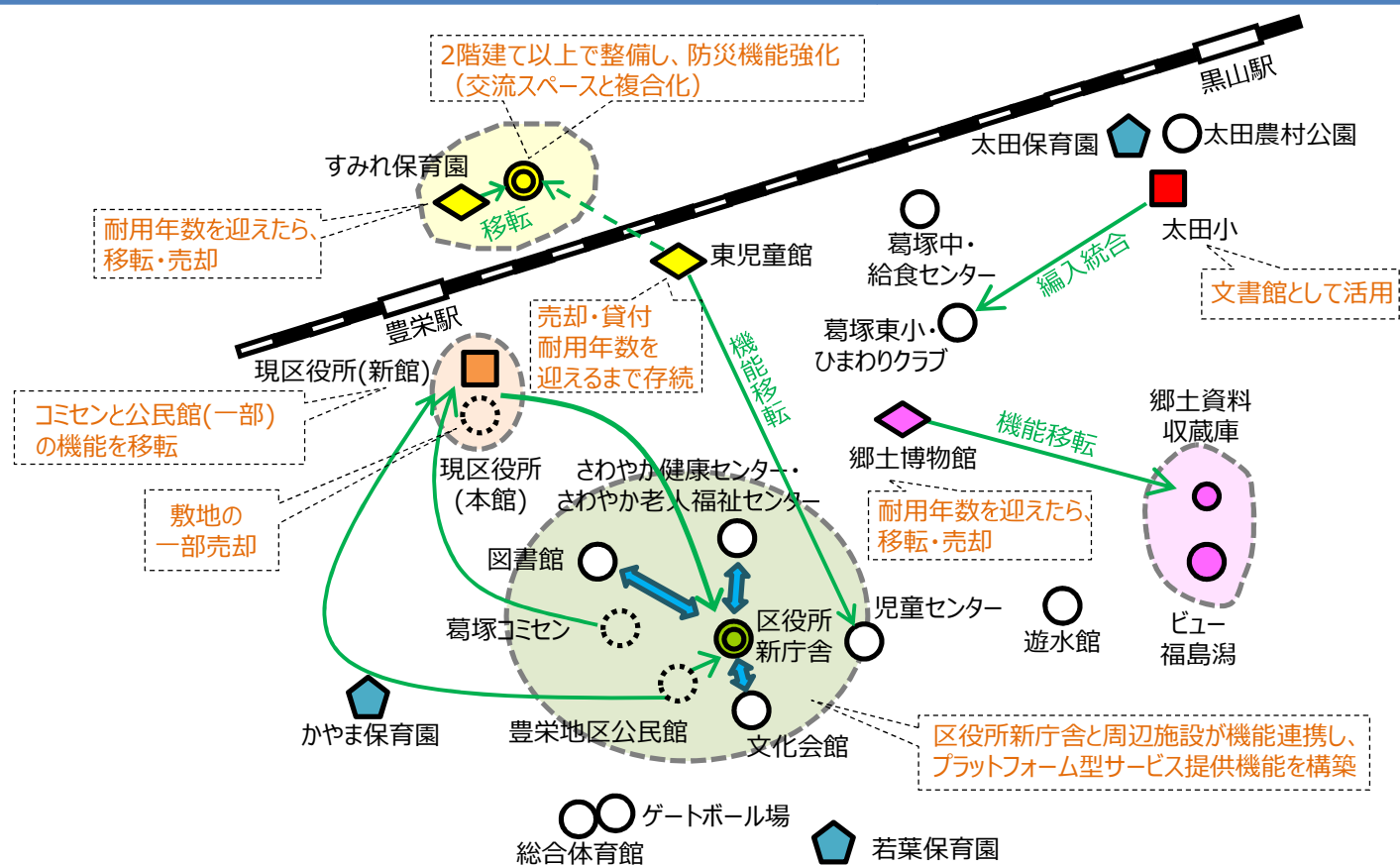
- 区役所新庁舎は、公民館（事務所機能と貸館機能の一部）などと複合化
- コミュニティセンターと公民館（一部）の機能は現区役所（新館）に移転
- 現区役所（本館）は解体、敷地の一部を売却

【北区役所関連以外の施設の概要】

- 太田小を文書館に転用（避難所機能を維持）
- すみれ保育園は、概ね20年後の更新に合わせて交流スペースと複合化
- 東児童館は、更新時期を迎える概ね30年後までは存続
- 博物館は、更新時期を迎える概ね20年後、ビュー福島潟エリアへ機能移転し、跡地を売却
- 3つの保育園は、更新時期を迎える概ね20年後に民営化などを検討

【効果】

- 既存建物の有効利用ができ、講座室などの活用で地域の活性化も期待
- 子育て環境を整えることで、地域の魅力向上に期待
- ビュー福島潟との相乗効果により集客力が高まり、エリア全体の魅力向上に期待
- 民間活力導入によるコスト削減により、将来世代の財政負担軽減



凡例

- ◎ 複合化・多機能化
- 用途転用
- ◇ 将来 売却・貸付
- 存続
- ⊙ 解体
- ⬠ 施設更新時に民営化などを検討
- ↔ 機能連携

短期的に再編を実施する施設の方針及びスケジュール

施設名	方針	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度
北区役所新庁舎	新設	設計	工事	工事 供用(年度末)	工事 (外構など)	工事 (外構など)
現区役所(本館)	新庁舎へ移転			移転	解体	
豊栄地区公民館	新庁舎・現区役所(新館)へ機能移転			一部移転		一部移転・解体
現区役所(新館)	コミセンと公民館(一部)の機能を移転	施設のコミセン化を含め一元的な管理運営を検討	設計	工事	供用	
葛塚コミセン	移転					移転 解体
豊栄地区公民館	新庁舎・現区役所(新館)へ機能移転			一部移転		一部移転・解体
太田小学校	文書館に転用(葛塚東小へ編入統合)	条件整理	設計	工事	供用	→

長期的に再編を実施・検討する施設の方針

すみれ保育園・東児童館	すみれ保育園は、概ね20年後の施設の更新に合わせて、交流スペースと複合化するとともに、2階建て以上で整備することで、防災機能を強化 東児童館は、更新時期を迎える概ね30年後までは存続とし、その後売却・貸付
郷土博物館・郷土資料収蔵庫・ビュー福島潟	博物館は、更新を迎える概ね20年後に、ビュー福島潟エリアへ機能移転(更新時期を迎える概ね20年後までは、現在地で存続)
太田・かやま・若葉保育園	施設の更新を迎える概ね20年後に、民営化などを検討(民営化を決定するものではありません)

その他の施設の方針

その他の施設	存続
--------	----

【今後の進め方】

- 計画を実施するにあたって下記事項に配慮し、地域や施設利用者などに意見聴取を行いながら再編を進めます。
- 区役所新庁舎とコミュニティ施設に転用する現区役所（新館）の駐車台数の確保
 - 保育園の民営化を検討する際は、メリットやデメリットを示しながら、地域とともに検討